

■事業のセールスポイント：国内有数の安全・安心ICTインフラ基盤による、きめ細やかなIoTサービス提供
見守りカメラをはじめとする多様なIoTデバイスがまちなかに配備、統合データプラットフォーム（FIWARE）も実装され、特に、アセット層及びプラットフォーム層の機能が充実している。今後、かがわアプリ等のスマートサービスの更なる拡充により、市民との接点強化やコミュニティ形成に資する行動変容を促し、新常態にも対応した安心・快適で持続可能なまちを目指す。

■位置図



■本事業全体の概要

コンセプト：“安全・安心”から育む、未来のスマートコミュニティ
共に支え、いつまでも安心して快適に暮らせるまちを目指して

柱1. 安全・安心なまちづくり

柱2. 市民の利便性・QOL向上

柱3. 持続可能な都市マネジメント(EBPMの推進)

住みやすい！働きやすい！
加古川っていいね！

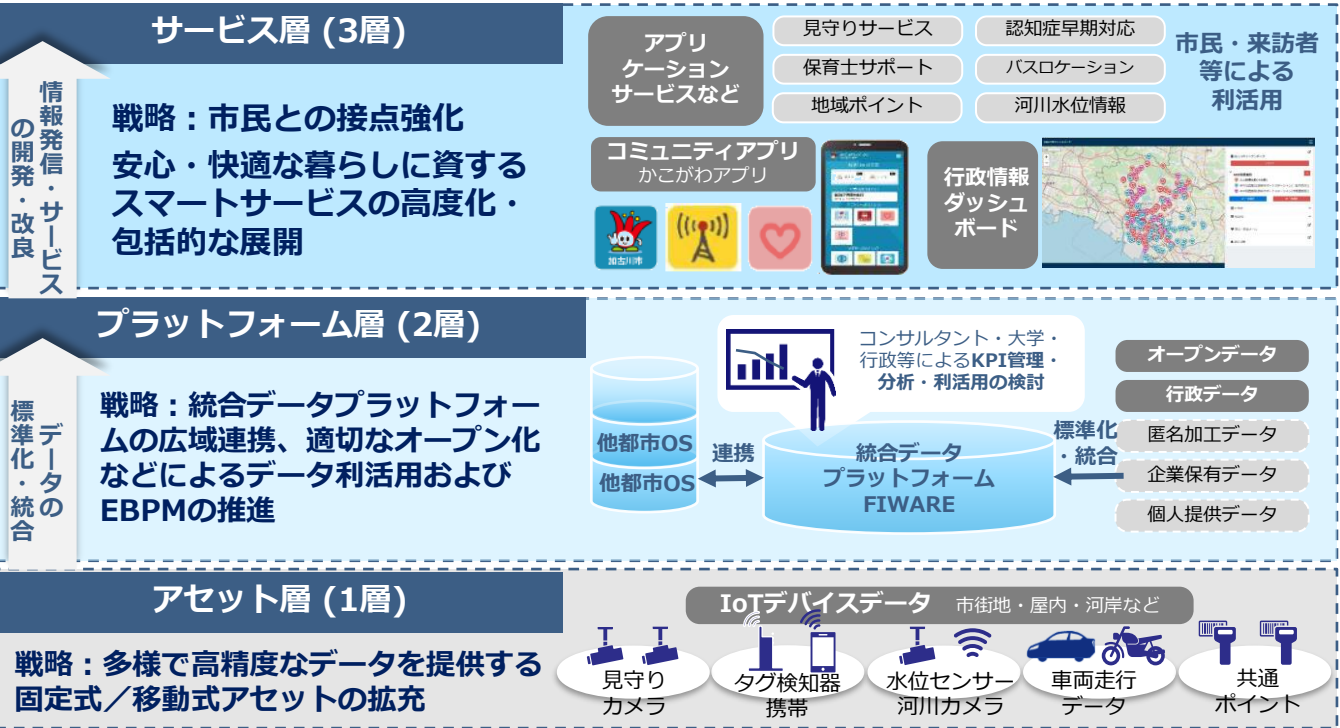
■対象区域の概要

名称	加古川市全域
面積	約 139 km ²
人口	約 26 万人
世帯	約10万6千世帯

2019年3月1日現在

■対象区域のビジョン

- <基本理念>
ひと・まち・自然を大切にし
ともにささえ、はぐくむまちづくり
- <将来の都市像>
夢と希望を描き、
幸せを実感できるまち加古川
- <基本目標>
- ①心豊かに暮らせるまち
 - ②安心して暮らせるまち
 - ③活力とにぎわいのあるまち
 - ④快適なまち
 - ⑤うるおいのあるまち



加古川スマートシティ事業(かがわICTまちづくり協議会)

■ スマートシティの目標(KPI) ※以下の考えに基づき今後設定

満足で終わらない、まちづくりへの積極参加を促すKPI管理

視点(1) 安全・安心 利便性・QOL

市民の行動変容を重視



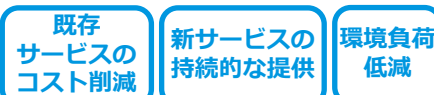
評価指標 (KPI) 例

- 1 防災研修(マイタイムライン)等の開催回数、参加人数
- 2 逃げ時マップ等の認知度
- 3 行政アプリのDL数
- 4 市民の地図作成(防災等)
- 5 地域ポイントの獲得数(ボランティアへの参加回数)

出生率の向上、社会増減の均衡化
による人口減少の抑制(上位計画)

視点(2) 都市マネジメント(EBPM)

都市/施策の持続可能性を重視



評価指標 (KPI) 例

- 1 軽減した犯罪被害額(仮試算値:5,500万円/5年)
- 2 軽減した交通事故被害額(仮試算値:10億円/5年)

■ 運営体制

かがわICTまちづくり協議会

【代表】株式会社 日建設計総合研究所 (NSRI)

日本電気株式会社 (NEC)

総合警備保障株式会社 (ALSOK)

株式会社フューチャーリンクネットワーク(FLN)

株式会社日建設計シビル (NSC)

関西電力株式会社 (KEPCO)

加古川市

助言・協力

連携

外部アドバイザー等

兵庫県
(東播磨スマートシティ推進協議会等)

各分野の専門家

地元機関・団体

関係者(補助事業/広域連携)

国
(国交省・総務省・内閣府等)

加古川市スマート
シティ推進協議会

先進都市など

■ 主な導入技術

アセット層 (1層)

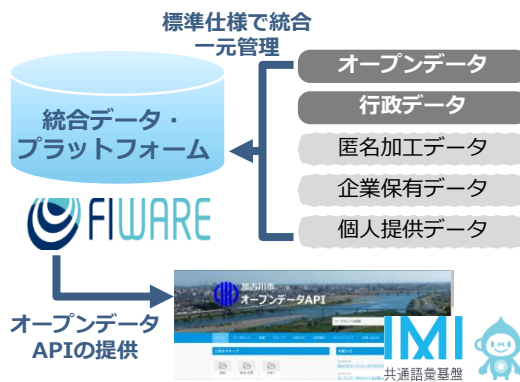
BLE(Bluetooth Low Energy)タグ
検知器の高密度な配置による
精緻なデータ取得、高カバー率



プラットフォーム層 (2層)

FIWAREの統合データ・プラット
フォームによる分野や地域を超えた
情報連携、協創の場の提供

統合データプラットフォームの取組イメージ



サービス層 (3層)

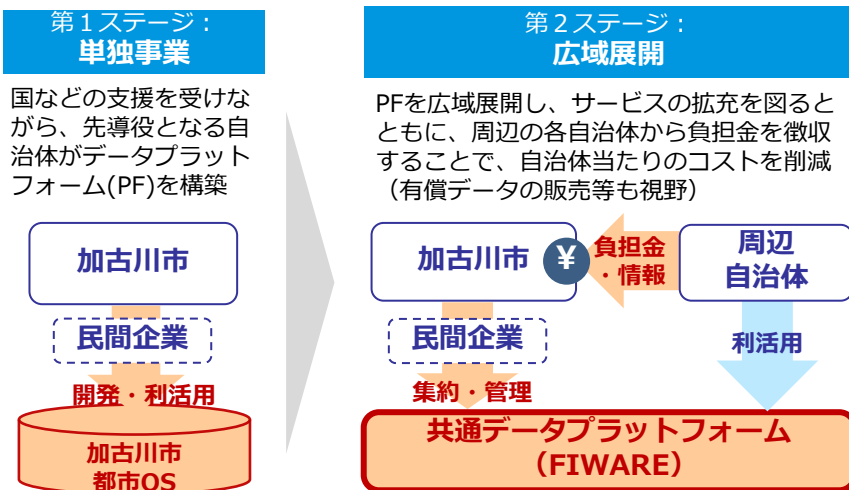
コミュニティアプリや行政情報ダッシュ
ボード等を通じた、安心・快適な暮らしに
資するスマートサービスの展開



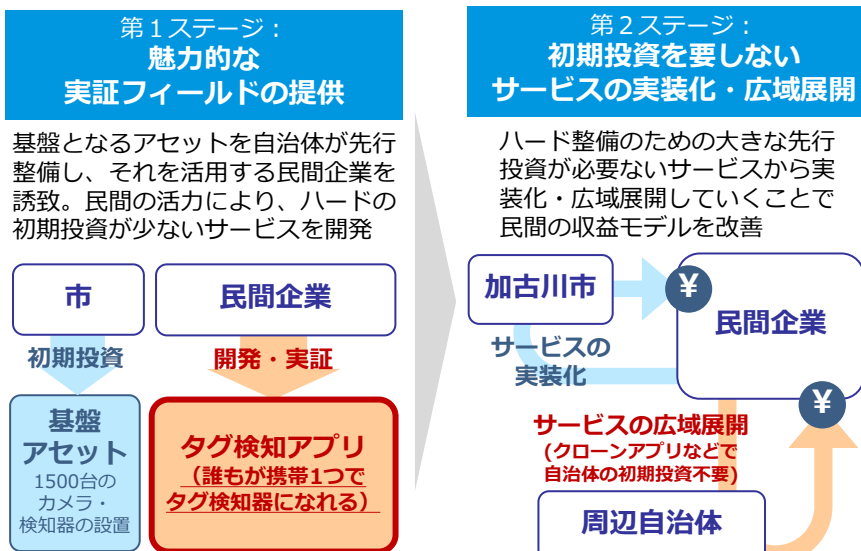
加古川スマートシティ事業（かがわICTまちづくり協議会）

■ ビジネスモデル

1. 広域防災モデル：データPFの広域連携による財源確保



2. 広域見守りモデル：初期投資不要のサービスの広域展開



■ スケジュール 本実証提案

取組内容	現段階	2020	21	22	中長期
サービス層（3層）					
1 行政情報ダッシュボード・コミュニティアプリによる情報提供	実装	➡	広域展開		
2 地域ポイント制度	実装	➡	かがわアプリ連動等		
3 保育士の働き方改革・業務負荷の改善、快適な保育環境の提供	実証	実証	拡大実証	実装	広域展開
4 河川水位情報の収集と活用	実証	実証	拡大実証	実装	広域展開
5 かがわアプリの共同利用等	実証	実証	拡大実証	実装	広域展開
6 高齢者における認知症の早期対応（MCI）（高齢者ドライバー等）	試行実証	試行実証	拡大実証	実装	広域展開
7 電動アシスト自転車による高齢者の見守り	開発	試行実証	拡大実証	実装	広域展開
8 ラストワンマイルの移動サービスの構築	開発	開発	実証計画	実証	実装
9 災害情報伝達手段等の高度化	開発	開発	試行実証	拡大実証	実装
プラットフォーム層（2層）					
1 統合データプラットフォームの構築	実装		維持管理		
2 オープンデータAPIの提供	実装		（広域化によるコスト低減）		
3 周辺自治体との広域連携	開発	調整	実証	実装	広域展開
アセット層（1層）					
1 見守りカメラ・タグ検知器の導入	実装	➡	広域展開		
2 郵便車両等へのタグ検知器・カメラの搭載アプリによるタグ検知	実装	➡			
3 電動アシスト自転車へのGPS・BLE受信機の搭載	開発	試行実証	拡大実証	実装	広域展開

加古川スマートシティ事業（かがわICTまちづくり協議会）

加古川市版スマートシティが目指す将来イメージ “安全・安心”から育む、未来のスマートコミュニティ

ICTなどの先端技術を積極的に活用し、“安全・安心”をはじめとする様々な地域課題に
多様な主体が協働して取り組む、魅力的なコミュニティを形成し、共に支え、いつまでも安心して快適に暮らせるまち

柱1. 安全・安心なまちづくり

柱2. 市民の利便性・QOL向上

柱3. 持続可能な都市マネジメント

